



注釈および LOV の管理

この章は、次の項で構成されています。

- [注釈, 1 ページ](#)
- [値のリスト \(LOV\) , 1 ページ](#)

注釈

注釈は、モジュール開発において最も重要な部分の 1 つです。ほとんどのアーティファクトは注釈に基づいて生成されます。これにより、開発のあらゆる作業がより簡単で便利になります。

注釈は、持続化、レポート生成、ウィザード生成、および各種タスクに使用されます。

持続化の注釈

持続性に使用される注釈の詳細については、[クラスへの持続性のマーキング](#)を参照してください。

タスクの注釈

ワークフローにタスクが含まれている場合、特定の入力を求めるプロンプトがユーザーに表示されます。ユーザーが入力を求められるのは、タスクを表すクラスのフィールドに注釈を使用してマーキングが付けられている場合です。FormField 注釈は、ユーザーに表示される UI 入力フィールドのタイプ（テキストフィールドか、ドロップダウンリストか、チェックボックスかなど）を決定します。詳細については、[タスク](#)を参照してください。

値のリスト (LOV)

リストは、タスクに対する正しい入力値を簡単に取得できるようにユーザーに対して表示される、ドロップダウン LOV (値のリスト) を表します。既存のリストを再利用することも、タスク UI に表示する独自のリストを作成することもできます。

Cisco UCS Director には、50 を超える事前作成済みのリストプロバイダーが定義されており、各モジュールでこれらを簡単に使用して、ユーザの入力を促すことができます。詳細については、[付録 A](#)を参照してください。

いずれかのリストプロバイダーの使用方法を示す例については、[独自のリストプロバイダーの定義](#)、[\(2 ページ\)](#)、および[タスク](#)を参照してください。

独自のリストプロバイダーの定義

独自のリストプロバイダーを定義して、そのプロバイダーをシステムに登録するようにプラットフォーム ランタイムに要求できます。

リストプロバイダークラスは `LOVProviderIf` インターフェイスを実装し、単一メソッド `getLOVs()` の実装を提供します。次の例を参照してください。

```
class MyListProvider implements LOVProviderIf
{
    /**
     * Returns array of FormLOVPair objects. This array is what is shown
     * in a dropdown list.
     * A FormLOVPair object has a name and a label. While the label is shown
     * to the user, the name will be used for uniqueness
     */
    @Override
    public FormLOVPair[] getLOVs(WizardSession session) {
        // Simple case showing hard-coded list values

        FormLOVPair http = new FormLOVPair("http", "HTTP");
        // http is the name, HTTP is the value
        FormLOVPair https = new FormLOVPair("https", "HTTPS");

        FormLOVPair[] pairs = new FormLOVPair[2];
        pairs[0] = http;
        pairs[1] = https;
        return pairs;
    }
}
```